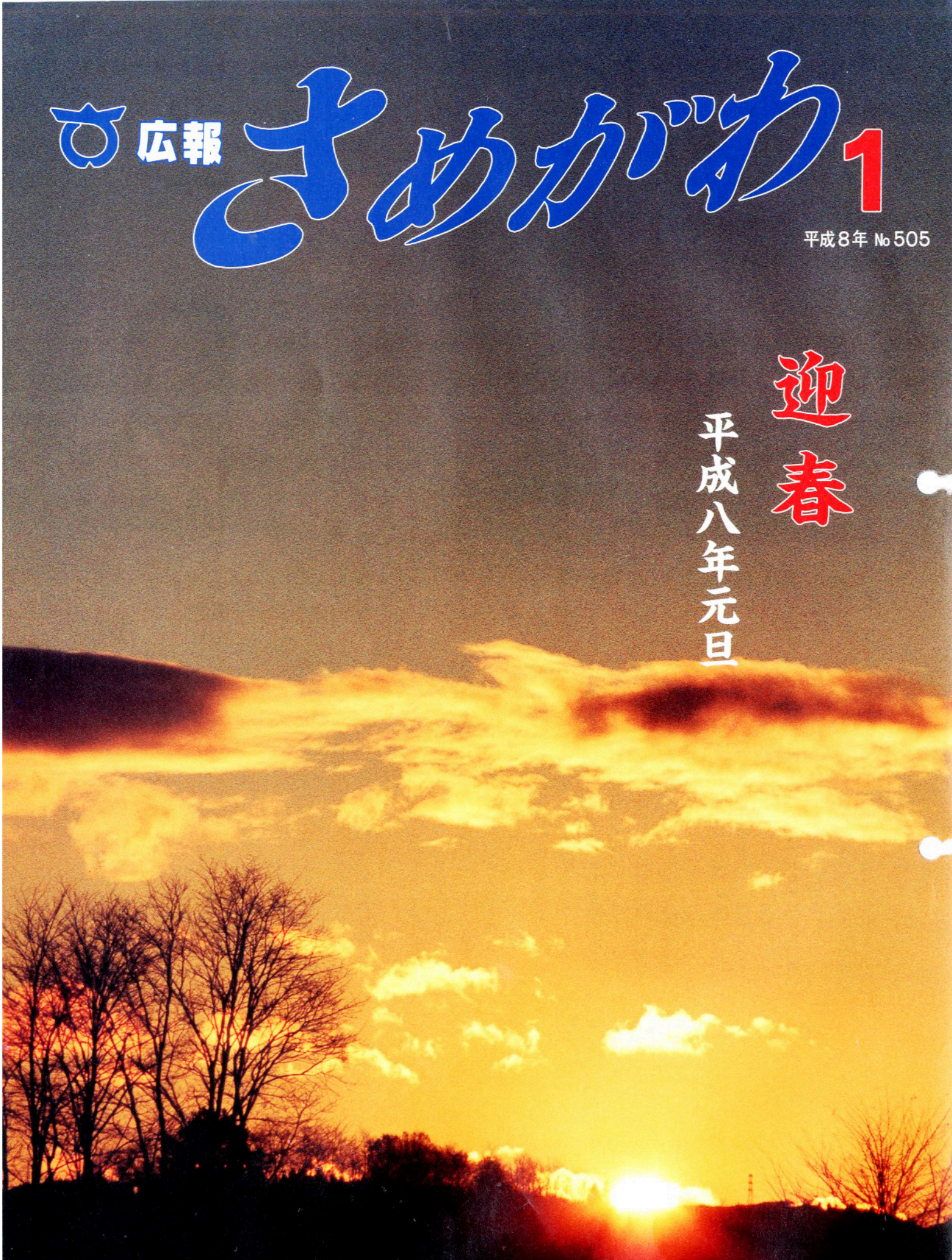
広報さめがわ 1

平成8年 No.505



迎春

平成八年元旦

鹿角平から望む鮫川村の夜明け
高和靖さん撮影（赤坂中野字巡ケ作）

発行／編集　鮫川村総務課　〒963－84 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5　TEL(0247)49－3111　印刷／佐藤印刷所



高齢化社会に向かって

鮫川村長　芳賀文雄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新しい年の初めに当たり、村民の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、日ごろ村政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年、国内では阪神・淡路大震災、オウム真理教事件、いじめ事件などの暗い事件がありました。

村内においては、四月に村長村議会議員選挙が行われて、今後四年間の執行機関と議決機関が決まりました。

稲作は六月までの長雨・低温で平年作より二割くらい減収となり、その他の農作物・畜産などは前年を上回った状況でありました。

村税完納については、十二月末日に皆様の深いご理解とご協力により全村完納継続三十九年の実績を達成されましたことに対し、衷心より感謝と敬意を表する次第であります。

さて平成八年は、本村財政は依然として厳しい状況でありますが、急速に進行する高齢化に対処するため、豊かな高齢化社会をめざして現在建築中の高齢者総合福祉センター（ディサービスセンター・ショートスティ・高齢者生活福祉センター・在宅介護支援センター）は三月に完成し、四月から運営を開始することにしています。

次に、快適な生活環境の形成にむけて農業集落排水事業（下水道）を平成十一年度完成をめざし、継続して実施いたします。また、個人の合併処理浄化槽の設置も普及推進して参ります。

道路網の整備については、国道三四九号バイパスの早期完成、県道五路線改良工事の早期完成に努め、村道・農林道の整備改良についても事業計画に基づき実施いたします。

農林業の振興と活性化、保健医療・福祉対策など村振興計画や各種の計画による事業などを実施いたします。

これらの執行に当たっては、絶えず時代の流れ、情勢の変化に注意を払い、簡素で効率的な行財政の運営につとめ、住民福祉の向上と地域社会の発展のため、心を新たにし、誠心誠意取り組んでいく所存であります。

本年も皆様の一層のご支援とご協力をお願いし、新年のごあいさつといたします。

今年から年賀状によるごあいさつは申し上げませんのでよろしくお願いいたします

謹賀新年



活力あるむらづくりに全力を

議会議長　藤田好幸

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

年頭に当たり、村議会を代表し村民の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、春先の長雨による低温と日照不足により水稲の作柄が懸念されましたが、夏場の好天候により遅れを取り戻し、何とか平年に近い作柄となったことは喜ばしく思います。

しかしながら、昨年十一月の新食糧法の施行により、農家の皆さんには平成八年も苦難の年となることが予測されます。

また、昨年は、一月に起きた阪神・淡路大震災や三月の地下鉄サリン事件などの大きな災害や事件が相次いで発生し、近年にない激動の一年だったように思います。

今日わが国は、国際環境が激しく変化する中で、国際化、情報化が進行する一方、世界でこれまで経験したことがない急速な高齢化社会へ突入しつつあり、まさに行政の真価が問われる大きな変化の時期にあります。

本村におきましても、若年層の流失による人口の減少や人口構成の高齢化という厳しい状況下にあり、これらに対処するための、生活環境、住宅、福祉、保健、医療、教育などの基礎的定住条件を充たすための諸施策の積極的な取り組みが求められております。

しかしながら、長引く景気の低迷により、地方公共団体を取り巻く財政状況は極めて厳しく、平成八年はさらに厳しい年となることが予測されますが、われわれ議会人としては決意を新たに、二十一世紀に向け「活力あるむらづくり」を推進すべく全力で取り組んでいく所存ですので、村民の皆様の一層のご支援ご協力をお願いする次第であります。

終わりに、村民の皆様のますますのご健勝とご発展を心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

わたしたち子年生まれ

今年は子年。昔は夜になるとネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものですが、最近は純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたからか、天井裏を走り回ったり、鳴いたりしているネズミは少なくなってきたのではないでしょうか。

ネズミは数も種類も多く、ほ乳類の約半数、1700種を占めるといわれ、しかも全世界に分布しています。ネズミ算という言葉もあるように、繁殖力がおう盛で、１回に20匹の子を生む種類もあります。

また、身近な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」などはよく知られています。

さて、子年は十二支のトップ。昨年は、天災や事件の多い暗い年でしたが、今年は気分を一新して、いい年になりますように。

干支にちなみ「子年」生まれの方に新年の抱負を執筆していただきました。

年頭に祈る



水野　一美（追　木）
（昭和二十三年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。

阪神・淡路大震災、オウム真理教に明け暮れた平成七年も今静かに過ぎ去り、明けて一九九六年の輝かしい新年を心静かに迎えられ、家族の無病息災、地域の安全を祈りつつ両手を合わせられたのではないでしょうか。

連日テレビから流れてくる暗いニュースに平成七年ほど心をいためた年はないかと思います。今年こそ明るい話題の多い一年にしなくてはと思いながら年頭に祈りました。

私も昭和二十三年生まれ、駆け足で通り過ぎた四十七年、気がつくと今年、年男。もうすぐ二十一世紀になります。より良い明日のために私たちの力が求められるのではないでしょうか。

美しい国土、あたたかな郷土鮫川村のために、懸命に頑張りたいと思います。

今年も災害の少ない年になりますように。

皆様方の一層のご活躍、幸多かれとお祈りいたします。

もっとがんばる私を



円谷由加里（富田小）
（昭和五十九年生まれ）

私は、新しい年に向けてがんばってみたいことがたくさんあります。四月からは六年生で小学校最後の年になるわけだから今までとは、ちょっと違う気持ちです。

まず、運動では、もっと持久力をつけたいと思います。そのために、自分の家の前の坂を走るようにしてみます。そして、村の駅伝で区間賞をとり、メダルをもらいたいです。

それから、勉強にも力を入れたいと思います。私は今まで家であまり勉強をしていなかったので、宿題の他に学校で習ったところの復習をしたり、予習をして学校でたくさん手をあげられるくらいになりたいです。

あと、家で飼っている犬やねこの世話も、うちの人にやってもらわないで自分できちんとやるようにします。

今年は、今までの私よりも、もっとがんばる私をつくっていきたいと思います。

人　生



長井　久男（青生野）
（大正十三年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。今年六回目の年男となりました。

大正十三年といえば甲子園ができた年といわれています。それから七十二年たったわけで、歳月のたつのは本当に速いものです。

少年、青年時代には戦争を経験し、多難な時期で苦しい生活を送りました。戦争も終わると家内全員健康で、私は農業や家業に励みました。そのころ声がかかり、農業委員や民生委員、区長を務めさせていただきました。また、交通安全協会の役員



新年の抱負

私のあしあと



矢吹　喜一（前折戸）
（明治四十五年生まれ）

明けましておめでとうございます。今年は七回目の年男になりました。

私の青年時代は戦争突入の時期でした。満州事変を初めとし支那事変、大東亜戦争と九年間の長期戦となり、当時の農家は食糧増産あるのみと、他を顧みるいとまもありませんでした。

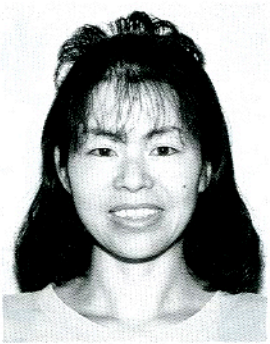
現役入団召集で五年間海上で敵潜水艦と転戦し、幸い無事復員した時には衣食に事欠く悲惨な状態となっていました。終戦記念日を期に増産に懸命な努力をし、開田、開畑と増収が達成されましたが、その後は世界経済の波により農業の衰退へと反転したように思われます。

しかし、生きていくには過去を忘れ不況といわれる昨今も計画と希望をもって前進するべきでしょう。

私も老人としての分を守り、趣味である盆栽や菊作りに生きがいのある楽しい日々を送りたいと思っています。

自然豊かな鮫川村に生れ育って、しかも健康に過ごしてこられたことに感謝し、皆様のご健勝をお祈りいたします。

人生は上々だ



蛭田美樹子（関　口）
（昭和三十五年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。つい最近成人式を迎えたと思ったら、もうあれから十六年が過ぎてしまいました。

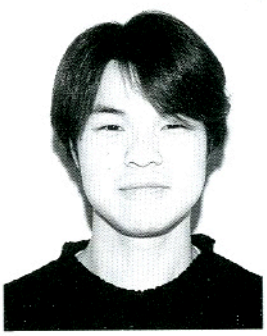
成人式を迎えてすぐ結婚をして、一女二男に恵まれ、そばには、祖父、祖母がいて、どんな時でも、互いに協力し合ってここまで過ごすことができました。結婚するのが、早かったこともあり、今年は、上の二人が中学生で、下が小三になります。

子育てに終った二十代、三十歳過ぎて、農業の方にも少しずつ手を出すようになってきました。農業は、まだまだ勉強不足で、祖母に教えてもらうことばかりです。

年を重ねるごとに、自分の人生になにか一つずつ残していきたいと思います。趣味をもち、行事などにも進んで参加して、地域の人たちと交流を深めていきたいと思います。

私の人生は、これからだと思います。自分の家庭をしっかり守って、他人に迷惑をかけず、健康に気をつけて、これから先の人生を歩んでいきたいと思います。

強い人間



羽田　浩幸（内ケ竜）
（昭和四十七年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。ついこの前成人式を迎えたと思ったら気がつけば年男になっていました。

昨年は、阪神大震災、地下鉄サリン事件と最悪の出来事で一九九五年の幕が明け、「この一九九五年は、どんな年になるのだろう」と僕は、不安でした。月日がおとづれしだい、ドジャース野茂英雄がメジャーで大活躍、新人賞獲得。オリックスがパリーグ初制覇。誰もがテレビにクギづけになった日本シリーズの古田とイチローの対決。神戸の人たちに、夢と希望をあたえたのはまちがいないでしょう。いろいろな出来事があった一九九五年でした。

今年、一九九六年は、どんな年になるのだろう。

子年の今年、僕はやりたい事が沢山ありすぎてどれからやっていいかわからないほどです。

まず初めに自分の心を強くしようと思います。何事にも負けずに強い心と強い精神力をもちどんな困難な壁にもぶつかっていきたいと思います。

子年は、僕にとって最高の年にしたいです。

に任命され、村民皆様の交通安全に努めて、現在に至っております。何分ボランティアですので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

これからは、老後の健康を保ちながら、社会のため頑張りたいと思っています。

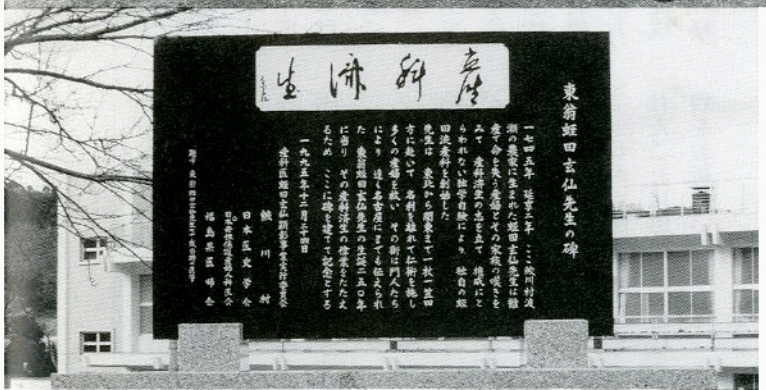
今年は子年です。私の家には子年生まれが母と妻と孫と私の四人おります。

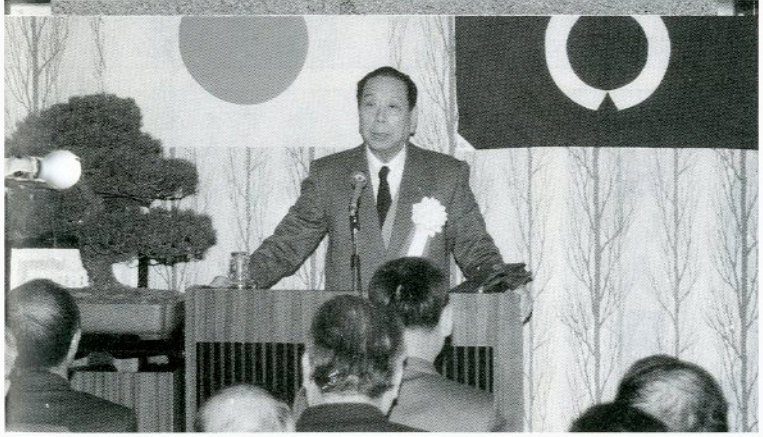
現在の不況の壁をねずみたちがチュウチュウと大きく穴をこじ開けて明るい輝かしい年明けになり、平和で豊かな年でありますことを皆様と共々お祈りいたしまして年男の言葉といたします。

鮫川村が生んだ江戸時代後期の名産科医

蛭田玄仙先生の顕彰事業を実施







鮫川村が生んだ江戸時代後期の偉大な産科医蛭田玄仙先生の業績をたたえる顕彰事業が、十二月二十四日大字渡瀬の観音寺と渡瀬区集落センターで行われました。

蛭田玄仙先生は、江戸時代後期の延享二年（一七四五）渡瀬字田苗下（現蛭田覚家）に生まれ、独学自験の末、産婦の負担を少なくする仰臥位出産を奨励し、胎児の位置の矯正や手指を使って難産を解消する用手産法を編み出し、「安産の神様・東翁」と称賛され、尊敬と信頼をあつめました。

玄仙先生の編み出した蛭田流産科は、当時わが国の出産法に一大革命をもたらし、近代産科の先駆として、またその基礎をなすものであり、画期的な偉業は、今なお承継されています。

このような事績を、日本医史学会会員、医学博士二宮陸雄先生が研究調査し刊行された著書「蛭田玄仙とその産科」が二宮先生から村に百五十冊寄贈されました。その誠意に応えるため村内有志の方々や浅川町の富永健先生などの御助言と御協力により検討を重ね、「産科医蛭田玄仙顕彰事業実行委員会」を組織し、生誕二百五十年に当たる平成七年に顕彰事業が行われました。

顕彰事業として、玄仙先生の産科済生の偉業を永く後世に伝えるため、渡瀬の観音寺境内に「東翁蛭田玄仙先生の碑」を建立しました。

記念式典には日本医史学会理事長蒲原宏さんをはじめ百二十人の方々が出席し、顕彰碑除幕式、生誕二百五十年祭、記念式典が厳粛に行われました。

また、記念式典終了後、浅川町の富永健先生を講師に玄仙先生に関する記念講演も行われました。



高齢者総合福祉センター

「ひだまり荘」に愛称決定

赤坂中野字宿の入地内に建設中の老人福祉施設の愛称選考委員会が十二月十二日開かれ、サブ名称を決定しました。

応募総数八十二点の中から我妻フヂイさん（西山字落合）の「日だまり荘」を一部訂正し「ひだまり荘」に決定しました。

老人福祉施設は、高齢者生活福祉センター（居住部門）、デイサービスセンター、ショートスティ、在宅介護支援センターの四つの機能を備え、保健、福祉、医療の連携強化をはかる複合施設で、在宅サービスの拠点となります。

来年四月オープンを目指して急ピッチで準備が進められております。

ぼくたち・わたしたち

もうすぐ一年生



平成八年四月小学校に入学される方は、平成元年四月二日から平成二年四月一日までに生まれたお子さんです。

平成八年十二月一日現在の調べで、入学予定のお子さんは次の六十七人です。名前が違っていたり、漏れていましたら、一月二十五日までに教育委員会学校教育課（☎49-3151）に申し出てください。

平成八年度新入学児童

（　）は保護者・敬称略

▼青生野小学校　五人

○笹島竜二（兼光）○石井宏幸（重幸）○石塚愛美（富士子）○大竹千奈美（伸克）○瀬谷詩織（義明）

▼渡瀬小学校　九人

○赤坂雅俊（浩幸）○藤田真司（博文）○小松祐一（忠男）○蛭田佑一（一郎）○小松真（光明）○藤田詩織（浩之）○藤田加奈恵（悦男）○蛭田結真（重夫）○金澤沙耶佳（寿）

▼富田小学校　五人

○矢吹康平（利光）○吉成学（光子）○大平成美（政信）○根本麻美（吉郎）○神原美彩（和夫）

▼西野小学校　九人

○佐藤和也（三郎）○鈴木裕介（善康）○舟木暢（勝弥）○高坂光（正男）○白坂好弘（雅彦）○高坂琴美（善知）○石井千尋（一弥）○矢吹朱（弘）○北條愛美（浩伸）

▼西山小学校　十三人

○坂本和也（清美）○本郷明（栄）○関根正志（正男）○関根匠（勝士）○水野晃（学）○関根健人（政一）○根本彰（一郎）○我妻奈津美（房吉）○水戸さおり（道夫）○阿久津千香（市男）○松崎いづみ（勝雄）○水野真菜美（勉）○阿久津奈美（伸安）

▼鮫川小学校　二十六人

○本郷勇喜（喜美）○大池義尚（義剛）○中川西和大（良男）○三瓶裕太（高弘）○中川西克貴（健）○松本大佑（克男）○塩田寿弥（昭義）○高木栄作（繁）○水野佳祐（一）○清水鯨太（国明）○溝井大輔（一雄）○鈴木健太（良一）○芳賀幸二（聡）○前田秀人（雅秀）○湯坐実咲（達雄）○芳賀麻祐子（文男）○蛭田留美子（忠）○渡邊亜実（浩佳）○岡部美華（憲司）○舟木千尋（正二）○芳賀ゆかり（克美）○若林里砂（俊二）○市村江子（春二）○矢吹保奈美（孝二）○小瀧遥（慎一）○緑川仁美（茂）

こんにちは保健婦です


村山保健婦


鈴木保健婦

おかわりありませんか

いつまでも元気でいたいね！



元気いっぱい長生き教室

赤坂中野、赤坂東野・石井草富田地区の三カ所で保健推進員さんと村が主催し、区、老人クラブ、婦人会が共催で「元気いっぱい長生き教室」が実施されました。

福島県保健衛生協会県南センター診療所長の松井昌俊先生から『更年期と老化を上手にのりきろう!』というテーマで講話があり、保健推進員さんからは『血のめぐりを良くする食事を知ろう』の伝達講習会があり、試食後は保健婦といっしょにレクリェーションを楽しみました。

各会場では、来年も是非お願いしますという声が上がっています。

お正月に「七草がゆ」を食べてみませんか！

―食生活改善推進ボランティアより―

昔から正月七日は、七草がゆを食べる風習が鮫川村にも代々伝わっています。このかゆの中には、せり、なずな（アブラナ科）、ごぎょう（別名母子草＝キク科）、はこべら（別名はこべ＝ナデシコ科）ほとけのざ（シソ科）、すずな（別名かぶ）、すずしろ（別名大根）といった七種類の野草を入れますが、七種類そろわなくとも、それにこだわらず家の近くにある野草を入れて作ってみましょう。

七草がゆは、昔から正月に餅を食べたり酒を飲み、胃がもたれるころに食べ、春の香りが豊かで、一年間の邪気を払い万病を防ぐといわれています。

〈七草がゆの効果〉

血圧低下、強心、健胃の働きがあります。



食生活改善推進ボランティアで一緒に楽しく活動しませんか！

今晩は何を作ろうか？　お弁当のオカズは何にしようか？　たくあん漬けや梅漬はどんなふうに作ろうか？…　日々の生活の中で「食」は大切なものです。

食生活改善推進ボランティアは、鮫川村に伝わる食文化の伝承や村でとれた野菜の利用推進、食事を通しての健康づくりを目標として活動しています。

健康相談会を開催します

各地区

毎年、恒例になりました健康相談会を開催します。

近くの集会所に集まってみんなで話をしたり、手先を使ったり、体を動かしたり、血圧を測ったりする健康相談会です。

どなたでも参加できます。お誘いあわせのうえお気軽にご参加ください。

◆内容

○健康・介護相談
○血圧測定
○レクリエーション
○ちぎり絵作り

◆対象者

四十歳以上を対象としていますが、どなたでも参加できます。

◆持参するもの

○住民健診結果表
○健康手帳



〈健康相談日程表〉

月　日	午前の会場 9：30～11：30	午後の会場 1：30～3：30
1月12日(金)	青生野集落センター	丸谷地集会所
1月16日(火)	世々麦集会所	戸草多目的集会所
1月18日(木)	石井草集会所	中ノ沢集会所
1月22日(月)	西山第一集会所	馬場集落センター
1月25日(木)	江竜田公民館	渡瀬区集落センター
1月29日(月)	福原集会所	田尻集会所
1月31日(水)	中沢公民館	前沼集会所
2月5日(月)	塩倉集会所	西部集会所
2月8日(木)	塚本集会所	滝集会所
2月13日(火)	折戸集会所	大平集会所
2月16日(金)	落合集会所	官沢集会所
2月20日(火)	切払集会所	真坂公民館
2月23日(金)	熊野集会所	大塩集会所
2月27日(火)	鍬木田・反田集会所	さぎり荘
2月29日(木)	西山区集落センター	

予防接種依頼書を発行します



予防接種を受けるのに事情があって定められた医療機関で受けられない場合は、個人の申請により『予防接種依頼書』を村で発行しますので印鑑を持参して、役場住民課保健係で手続きをしてください。

該当理由

1. 虚弱体質、慢性疾患などでかかりつけの医療機関が、東白川郡外である。
2. 接種者が現在東白川郡外の医療機関に入院、または入所中である。
3. 里帰り分娩で親が長期滞在になる（産前産後8週間をめやすとする）
4. 身よりがなく現在の土地で長期滞在となる。
5. 家族などが入院中で看護のため親・保護者が長期滞在になる。
6. その他

最優秀賞に高和靖さんの作品



▲矢吹一男さんの作品　▼鷲野谷満さんの作品



広報さめがわ平成8年1月号の表紙を飾る日の出の写真を募集したところ、10点の応募がありました。

緑川助役を委員長に、選考委員会を開催し、最優秀賞1点、優秀賞2点が次のように決定しました。

◆最優秀賞＝高和靖さん（巡ケ作）
（表紙写真―鹿角平で撮影）

◆優　秀　賞＝矢吹一男さん（大塩）
（大塩地内で撮影）

◆優　秀　賞＝鷲野谷満さん（二反田）
（鍬木田地内で撮影）



清らかな川の流れをもとめて

農業集落排水事業

中野地区に着工



みなさんは鮫川村のことを聞かれたときに、澄んだ空、清らかな川の流れを自慢していませんか。そう、清らかな川の流れは、私たちの心をなごませてくれます。そして、水は私たちの暮らしに欠くことのできない資源です。飲み水、洗濯などに使う生活用水や田畑を潤す農業用水としても多くの水を利用してきました。

村では、大切な水を守るため、平成三年度から合併処理浄化槽の設置を進めながら、平成四・五年度には戸倉地区の簡易排水処理施設を整備してきました。また、平成六年度から農業集落排水事業を計画し、中野地区がいよいよ実施されます。

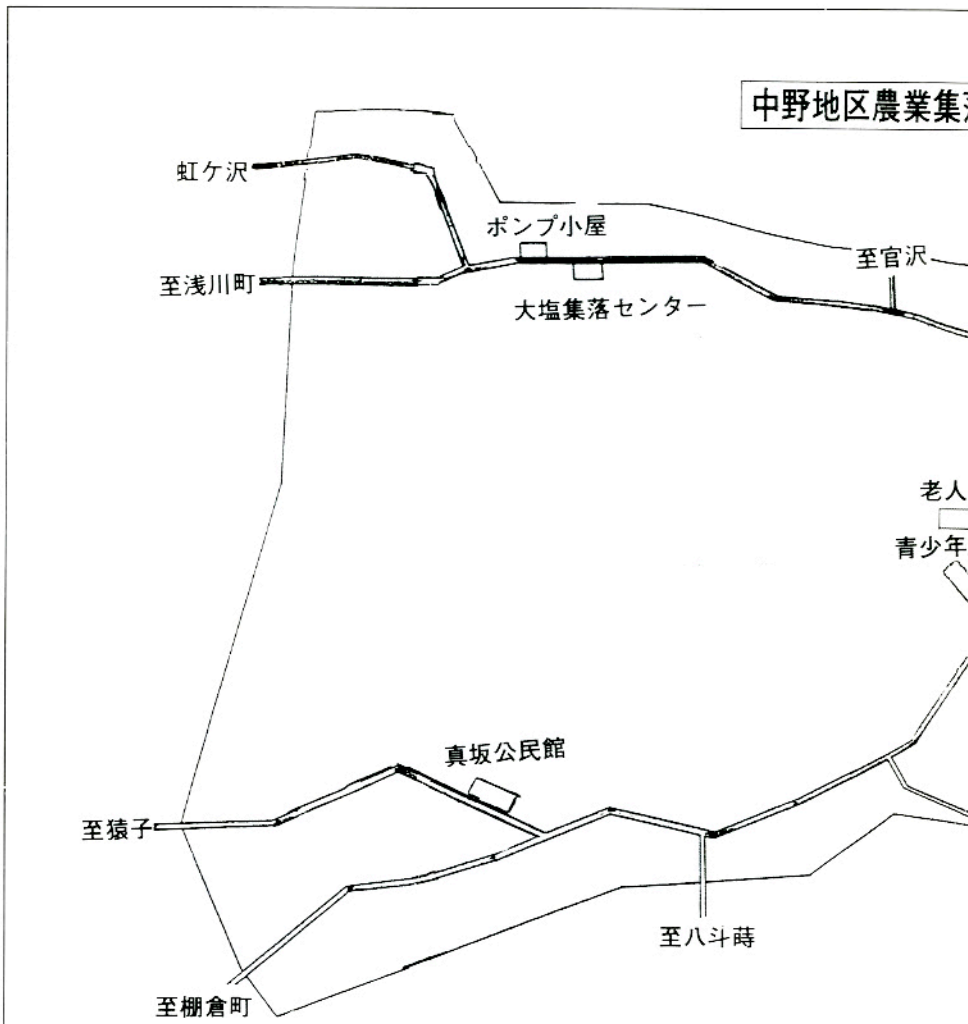
中野地区は平成11年度供用開始

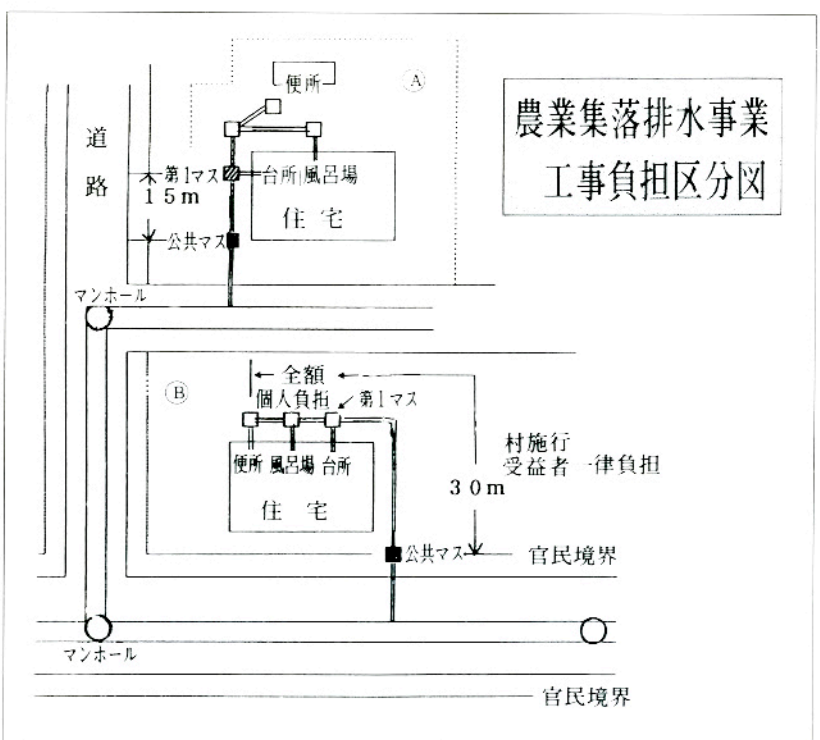
中野地区の予定区域図は右の実施位置図のとおり、赤坂中野区の新宿、道少田、巡ケ作、伏木田、大塩、宿ノ入、真坂と赤坂東野・石井草区の広畑、巡ケ作、富田区の前沼で、一般住宅と事業所を合わせ二百十四戸、千五百三十人が処理人口となります。

事業計画区域面積は一〇四ヘクタール、管路は延長十キロメートルに及びます。

事業費総額は十九億五千万円を投じ、平成十一年四月ころに一部供用を開始する予定です。

平成七年度は、村道上大塩虹ケ沢線と主要地方道勿来浅川線の一部の延長五百十一メートル主要地方道棚倉鮫川線の真坂地区五百メートル、工事を一月中旬ころから着工する予定で現在加入申し込みのとりまとめを行っています。





三地区を予定

農業集落排水事業は、下水道事業の一つで、農業集落におけるし尿、生活雑排水（台所・風呂・洗面所）を処理する施設の整備を行い、農業用用排水の水質保全と機能維持や農村の生活環境の改善をはかり河川などの水質保全に努めます。

農業集落排水事業は、農林水産省関係の事業で、処理対象人口が千人未満の集落が対象となり、村では、中野地区のほかに木之根地区、彦次郎地区の二地区を予定しています。



魅力と活力のある農村を

農業委員会
会長　船木彦助

あけましておめでとうございます。

平成八年の初春を迎え、皆々様のご多幸と繁栄を心からお祈りいたします。

さて、昨年を振り返りますと、農産物の作柄につきましては、水稲については春先からの低温、長雨により葉いもち病の発生と成育遅れにより、このままの天候が続けば不作が予想され大変心配しましたが、七月下旬の梅雨明けからの好気象条件に恵まれ、また大きな台風の襲来もなかったため、なんとか成育遅れを取り戻し平年作に近いものとなり、他の農作物についても平年並みとなりました。

農政をとりまく諸情勢については、後継者不足による担い手の減少・高齢化、農地の遊休・荒廃化、食料自給率の低下、中山間地域における過疎化により活力の低下が進んでいる一方で、ウルグアイ・ラウンド農業合意により、昨年十一月からの新食糧法が施行され、主食である米は国の管理から民間流通へと大幅な規制緩和による自主流通米を主体とした制度に移行されたことにより、本村農業は構造的変革の局面を迎えています。

このため、農業経営改善計画認定農業者の経営確立を円滑に推進し、家族経営協定の普及定着を図り、新規就農者を含めた幅広い人材の確保と時代の変化に対応し得る経営者を支援するため、村と農業委員会が一体となり農業経営を支援していくことが必要となります。

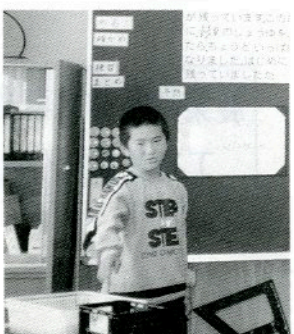
また昨年十一月には後継者不足に対応するため、鮫川村結婚相談員制度及びその結婚を媒酌した媒酌人に奨励金制度を併せて発足させ、全力を挙げて結婚問題に取り組むことになりました。

これらの政策と推進を図り魅力と活力のある農村をつくり上げるために、私たち農業委員は農家の利益代表機関として、生産性の向上、担い手の育成、後継者不足、高齢化、過疎化、耕作放棄地の活用など、その対策に委員会機能を最大限に活用し、努力する考えでおりますので一層のご協力、ご指導、ご支援をお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。

—シリーズ⑤—

基礎学力向上をめざして

西野小学校で学習指導法研修会





「先生、できなかった分数の計算ができるようになったよ。」

「わかった！こうすればいいんだ！」

子どもたちにとって分からなかったことが分かったときに感じる喜びは、大人が想像する以上に大きく、そして、誇らしいものです。

去る十二月八日、西野小学校で「第三回学習指導法研修会」が実施されました。五年生十一人を率いるのは、教職経験十六年目、西野小学校二年目の佐久間敏彦教諭です。

四十五分の授業の中で教師がしっかり指導すべきこと、児童に考えさせること、児童同士が互いに考えを発表し高め合う授業について大変勉強になり刺激にもなりました。

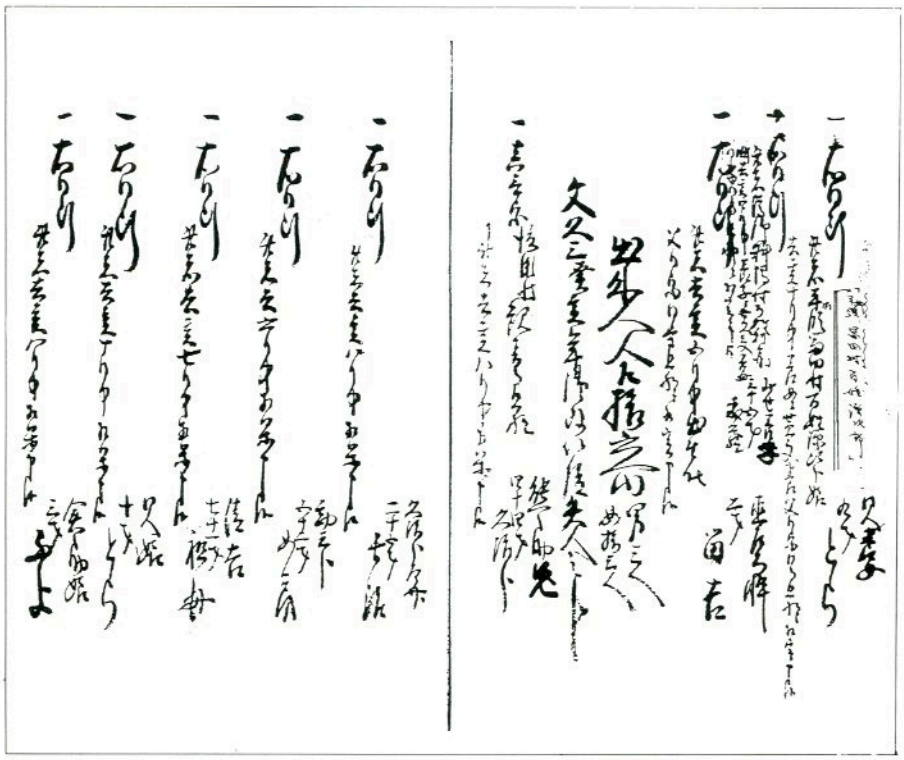
児童の持っている競争心をうまく生かした「グループ計算競争」は、児童の学習意欲を高める一つの方法として、また、そこから派生するよりよい人間関

史・資料を探る

村史編さん室

磐城平藩（安藤鐐之助領分）富田村の事

近世の富田村は一貫して幕府直轄の支配（「幕領」あるいは「天領」）の下にあったものと思っていましたが、たまたま文久四年（一八六四年）今から百三十二年前）の渡瀬村宗門改帳中に次のような文書があるのを発見しました。



文久三癸亥春御改以後出来人之分

一、真言宗渡瀬村観音寺旦那

久治郎娘　壱才なつ

此者当子正月中出生仕、父同宗門寺旦那ニ相定申候

～以下、同人養女八才とく、清吉女房二十二才よし、同人伜伊之治郎出生、郡右衛門娘二才ひの出生、治左衛門孫二才弥与吉出生、勝蔵娘二才まつ出生、佐平娘二才のぶ

～略

一、右同断　作治郎女房　二十一才　さつ

此者平領台宿村百姓直右衛門娘去亥八月中女房ニ貰受夫同宗同寺旦那ニ相定申候

～以下寅太郎女房廿一才さと同人娘一才とら出生、角治娘二才しま出生、同人養女廿四才きさ～（略）

一、右同断　同人（角治）養女　九才とら

此者平御領富田村百姓源次郎娘、去亥十月中養女ニ貰受、養父同宗同寺旦那ニ相定申候

以下略

これによって台宿村（現在の塙町台宿）と共に富田村が平領であったことが証されることになります。

塙町史第二巻資料編にあたってみると、「幕政・藩政」解説中に、文久二年（一八六二）一月十五日坂下門外の変で磐城平藩主安藤信正が浪士に襲われ負傷、同年八月十六日島津久光らの強い要求により、老中罷免の上二万石の減領、隠居を申し渡され、家督を鐐之助（信民）にゆずることを命じられました。九月一日村替えの代地として信民に磐前郡、菊多郡の内、高一万二千九石を与えられたとあります。その時、白川郡の内、下松川村上松川村（現在の古殿町）富田村（鮫川村）、金沢村・山下村・関岡村（矢祭町）、中塚村・木ノ反村・台宿村・下渋井村・竹之内村（塙町）の十一カ村が慶応元年（一八六五）五月まで磐城平藩安藤鐐之助領分だったことが記されています。

文久二年九月から慶応元年五月までの二年八カ月の短期間でした。

その後再び幕領に戻り、塙代官所の支配下で明治に至ります。

宗門文書の一枚が歴史上貴重な事実を明かしてくれたことになります。

係を期待する上でも効果的であるということで大変参考になりました。

学力向上の具体的な方策として、西野小学校では、今年度の四月から、月曜日を除いて全校生で毎朝十分間の「朝自習」を行っています。そのまとめとして年五回「漢字・計算コンクール」を実施していますが、自主的に家庭学習に取り組んで何とか合格点の八十点に近づこうとがんばるようになっています。

今回の研修会を実施して、児童に確かな学力を身につけさせるための具体的な取り組みを更に追究していく必要性を再認識しました。

お知らせ

広報にあなたの写真が出ていたらご連絡ください。さしあげます。

役　場　☎49－3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5

受け付けます 鮫川村奨学基金の申し込み

鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

※募集期間

平成八年三月一日～三月三十一日

※応募資格

一、鮫川村に引き続き五年以上住んでいること。または住んでいたこと。

二、高等学校、高等専門学校及び大学、短期大学に在学していること、または今春入学予定者であること。

三、経済的理由により修学が困難と認められること。

四、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと。

※貸与月額

一、高等学校、各種学校（一年～三年）在学者、月額二万円以内

二、高等専門学校在学者、月額三万五千円以内、ただし第三学年までは月額二万円以内

三、大学及び短期大学在学者　月額三万五千円以内

※貸与始期及び期間

平成八年四月から在学する学校の正規の修業期間

※奨学生の決定

奨学生は、選考委員会で願書の内容を審査決定し、出願者に通知します。

※奨学金の償還

奨学金は無利子で、卒業後六カ月から毎月、十五年以内に償還していただきます。

ただし、事情によりその全部または一部を一時に償還することができます。

※申し込み・問い合せ先

鮫川村教育委員会、学校教育課（☎四九－三一五一）

1・2月健康カレンダー

種別	実施日時・場所	対象者
1歳児健康診査	1月9日(火) 午後1:00～1:30 開発センター	平成6年11月・12月、平成7年1月・2月生まれのお子さん 母子健康手帳、歯ブラシ、コップ持参
三種混合予防接種	1月12日(金) 午後1:30～3:00 村診療所	Ⅰ期初回・追加　3か月～7歳 Ⅱ期　小学校6年生 母子健康手帳、予診票持参
母子健康手帳交付	1月17日(水) 午前9:00～9:10 開発センター	妊娠と診断された方本人 印鑑持参
1歳6か月児健康診査	1月23日(火) 午後1:00～1:30 開発センター	平成6年4月から7月生まれのお子さんうち1歳6か月を過ぎたお子さん 母子健康手帳、歯ブラシ、コップ持参
4か月児健康診査	1月31日(水) 午後1:00～1:30 棚倉保健所	平成7年8月・9月生まれのお子さん たおるバスタオル持参 母子健康手帳
乳児相談	2月1日(木) 午後1:00～1:30 開発センター	平成7年5月から8月生まれのお子さん
3歳児健康診査	2月6日(火) 午後1:00～1:30 開発センター	平成4年8月から11月生まれのお子さん 母子健康手帳、歯ブラシ、コップ持参

いたずら電話にご注意ください

このところ、白河保健所の職員（実在しない）などと称して悪質ないたずら電話が相次いでいますのでご注意ください。

〔電話の内容〕

「白河保健所の田中（こう名乗ることが多い）だが……」

男性が出るとすぐ切ってしまい女性が出ると

「あなたの旦那（お父）さんは、血液検査の結果、梅毒反応が陽性となりました。家族の方も感染しているかもしれません。検査をした方がよいので（どこどこ）で何時に会いましょう」

この合間に

「風呂は一緒か、夫婦生活は」などの質問をします。途中で変だと気づき相手に質問をすると電話を切ってしまいますが、中には動転して信用してしまう人もいます。

保健所が休日（土・日・祝祭日）の時にかけることが多いようです。

〔もしもこのような電話がかかってきたときは〕

保健所か警察署に連絡してください。

棚倉保健所☎33－2241
棚倉警察署☎33－3241

※　保健所では上記のような電話連絡は行っていません。



多年にわたり、商工会の運営と経営改善普及事業に従事し、小規模事業者の振興に寄与された功績が認められ、このたび青戸カツ子さん（富田字前沼）が商工会法の施行及び経営改善普及事業発足三十五周年に当たり通商産業大臣から表彰されました。青戸さんは、昭和三十九年に商工会に勤務以来三十一年の長きにわたり村内の商工業者などの振興に努めてきました。一層の活躍が期待されます。



十一月十七日、郡山合同庁舎で県中・県南地方県政モニターブロック懇談会が行われました。各市町村のモニター十九人が出席し、県知事を囲んでの懇談となりました。鮫川村のモニター蛭田吉郎さんも出席し、国道三四九号及び県道の早期改良と住宅地防災関係を要望しました。

1月10日110番の日です

一月十日は「110番の日」です。皆さんから通報される「110番」は、棚倉警察署で受信する仕組みになっています。事件、事故などが発生した場合、より早い通報が犯人検挙の確率を高くします。

110番をかけるときは

※何があったか
交通事故、泥棒、けんかなどを正しく通報しましょう

※いつ、どこで
発生時間、場所（近くの目標物）などを知らせる。

※事件、事故の内容は
道路に人が倒れている。ケガ人がいるなど……。

※犯人
人相や特徴、車のナンバー、逃げた方向など

正しい利用をお願いします

「110番」は、緊急通報用の電話ですので、問い合わせや相談は、加入電話でお願いします。

和牛子牛セリ市場状況

市場区分	性別	頭数	取引価格 最高	取引価格 最低	取引価格 平均	平均体重	1kg当り単価	平均日齢
塙（12月4日）	雌	117	417,150円	224,540円	303,471円	274.5kg	1,105円	314.6日
	去勢	137	630,360	100,940	385,543	306.7	1,256	306.7
	計	254			347,739	291.9	1,191	
石川（11月15・16日）	雌	263	561,350	128,750	328,900	277	1,185	
	去勢	360	780,740	75,190	429,312	300	1,428	
	計	623			387,016	290	1,331	
本宮（11月10日）	雌	148	658,000	102,000	334,245	275	1,217	
	去勢	207	648,000	135,000	420,517	303	1,386	
	計	355			383,688	291	1,317	

12月市場の動向

12月の塙市場は上場頭数254頭（内鮫川村分141頭）と前回より55頭多く取引され、平均価格は表のとおりで10月市場より6,000円安い取引となりました。
今回は栃木市場、常葉市場が前後していたため購買者が少なかったこと、また子牛にバラツキも見られたため安くなったものと思われます。
冬季に入り家畜管理には十分気をくばり下痢などをさせないようにしましょう。

国税だより

給与所得者の還付申告はお早めに

平成七年分の所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までですが、確定申告をする義務のない方でも、マイホームをローンなどで取得した人・高額な医療費を支払った人などは確定申告をすると所得税が戻る場合があります。

還付申告は一月から受け付けています。三月に入ると税務署の窓口が大変込み合いますので申告はできるだけ早めに済ませてください。

なお、還付金の受け取りには口座振込をご利用ください。

詳しいことは、郡山税務相談室（☎0249-34-6300）白河税務署（☎0248-22-7111）におたずねください。

今月の納付

国民年金保険料　1月分
納期限　1月25日

社会福祉事業のために　寄附

ありがとうございました

○木之根　赤坂　博男様
○鮫川村ふる里文化芸能クラブ
代表　有賀　華子様
○石井　中川西一郎様
○神奈川県川崎市高木　幸夫様
○石川町　大竹眼科様
○田尻　高久　和雄様
○大石草　生田目清治様

心配ごと行政相談

1月22日（月）
午前十時～午後三時
開発センター

なお、心配ごと相談では午後一時から午後三時までは弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

村のできごと

はしご車も来たよ！



12月1日　西野小学校で避難訓練が行われ白河地方広域消防レスキュー隊の協力により、地上三十二㍍まで延長できるはしご車の試乗も行われました。また先生方による消火器訓練や消火栓を利用しての放水訓練も行われました。

助手席もシートベルトを



12月11日　村交通対策協議会と交通安全協会の役員、交通教育専門員などの皆さんが、鮫川駐在所前で「交通安全テント村」を実施しました。駐在所前を通過するドライバーの皆さんにティッシュペーパーなどを手渡し安全運転を呼びかけました。また、同時にシートベルト着用率を調査した結果、運転者が九五・九%、助手席が六三・六%と助手席の着用率が極端に低いことがわかりました。

サンタさんがやってきた



12月21日　渡瀬保育所でクリスマス・誕生会が行われました。歌をうたったり、ダンスをしてクリスマスと十二月生まれのお友達の誕生を祝っているところにサンタさんがプレゼントを持って現われ、子どもたちは大喜び。楽しいクリスマスとなりました。

フォトルポ



12月3日　第六回鮫川村民駅伝競走大会が行われました役場前を午前十時にスタートし、鬼越↓水口↓滑石↓見渡↓真坂↓役場前↓富田小前↓福原↓渡瀬小入口↓福原↓富田小前↓役場前ゴールの十三区間、三十三・九二キロメートルを八チームの各選手が力走しタスキをつなぎました。沿道には、選手に声援をおくる人垣ができ、ゴールでは最終ランナーを迎える人たちから歓声と拍手がおくられました。また、今年も婦人会の皆さんによる「とん汁」のサービスがあり、好評を博しました。



結果

第一位　西野Aチーム　二時間十四分十五秒
第二位　西山チーム　二時間十四分二十六秒
第三位　青生野チーム　二時間十六分三十三秒

区間賞

第一区	岡部　満枝	（青生野）
第二区	藤田　重幸	（西野A）
第三区	国井　靖和	（渡　瀬）
第四区	舟木　副善	（西野A）
第五区	矢吹　博子	（西野A）
第六区	白坂恵美子	（西野A）
第七区	阿久津光市	（西　山）
第八区	関根　俊久	（西　山）
第九区	岡部　謙一	（青生野）
第十区	舟木こずえ	（西野A）
第十一区	小山田忠吉	（富　田）
第十二区	長井　進	（青生野）
第十三区	須藤　貴弘	（富　田）

防犯テント村

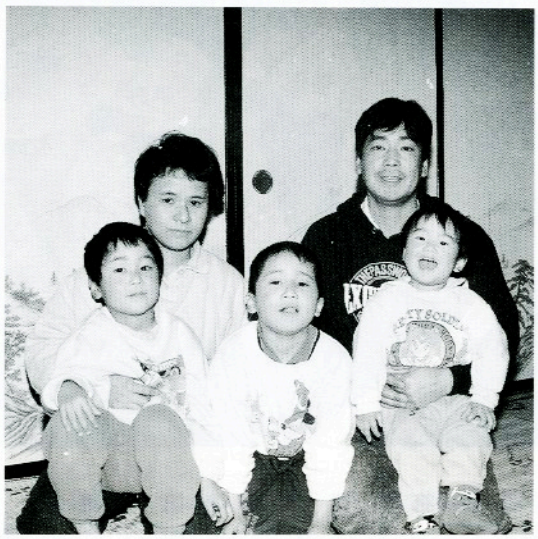
12月15日　鮫川駐在所前で防犯協会鮫川支部の皆さんが「防犯テント村」を行い、通りがかりの方に年末年始の防犯を呼びかけました。



ふれあいひろば



ふたりで♡バトンタッチ♡♡♡



高坂正男・ハツヨ さん

（赤坂西野字上）

56

正男さんは上の高坂正光さんの長男、ハツヨさんは浅川町の出身で昭和六十三年十一月十九日結婚式を挙げました。

同じ職場で知り合ったお二人の第一印象は、正男さんを「ユーモアのある人」、ハツヨさんを「素直な人」と思ったそうです。

正男さんはハツヨさんの「いっしょに農業をやってくれそうなところ」に、またハツヨさんは正男さんの「しっかりしていて、頼れるところ」にひかれたそうです。

現在、長男光くん（六歳・写真中央）、長女美里ちゃん（五歳・前左）と二女のやよいちゃん（一歳・前右）の三人のお子さんに恵まれホットな家庭を築いています。

正男さんは、棚倉町のカルソニックニットー㈱に、ハツヨさんは浅川町の大同化工㈱に勤めています。

「家族みんなが健康で、明るい家庭にしたい」というお二人です。

どうぞ、いつまでもお幸せに。

高坂さんの紹介で

次は

増子学・信子さんに

バトンタッチ

東京鮫川会からこんにちは

旅



蛭田　廣 さん

東京都大田区在住
渡瀬字木之根出身

普段は仕事に忙殺されてはいても、ふっと脳裏に甦ることがあります。昭和三十三年の春、就職列車で上京するため、何人かの級友と知人らに見送られて渡瀬をたつ朝、写真と小物をそっと手渡してくれた友はもうこの世にいません。

東京蒲田の工場で見習工員として私の人生の旅は始まったがその後幾多の紆余曲折や喜怒哀楽も今は懐かしい。

転勤で各地を旅して、現在は家族を大阪に残し二年前に東京へ単身赴任しました。久しぶりの盆帰りの日、広報『さめがわ』で『東京鮫川会』の存在を知りました。

以来毎月送られて来る広報が待ち遠しく、それまで疎遠になりがちだった故郷の存在が、急に身近に感じられ、届いた広報の頁をめくる指先ももどかしく不思議な胸のときめきさえ覚えてしまいます。

去年『ふる里探訪ツアー』に友人と参加させていただいて、江竜田の滝の雄大さに感動し、清涼な流れに心を洗われました。

途中の農家でふるまわれた凍み餅の懐かしさ、山独活のじゅうね和えのほろ苦さに、子どものころの亡き母のぬくもりが重なり思わず胸が熱くなりました。

あの時『銘酒やまぶき』のコクの深さも、山菜の素朴な味わいも、鹿角平そばの芳香も、どれもが素晴らしく腸に染み込みましたが、私にとって何よりの旅の土産はふる里に住む人たちの、変らないあたたかさと、地域の振興にかける熱気を肌で感じたことです。

歓迎してくださったふる里の皆さん、ありがとうございました。

最後に、鮫川村の一層の発展を祈念いたします。

むし歯のない子あつまれ〜 2

平成３年８月１日から平成４年７月31日までに生まれたお子さんで、３歳児健診時にむし歯がなかったお子さんを紹介します。



芳賀　花華ちゃん
（平成３年10月９日生）
芳賀良雄・照美さんの長女
渡瀬字江竜田

小さいときから歯みがきをするのが大好きで、歯ブラシを上手に使っていました。甘いものをあまり食べず、歯固めは〝するめ〟をしゃぶらせてきました。保育所の歯みがきがんばりカードは、子どもたちにとっても励みになるようです。

（おかあさん）



矢吹　雄太くん
（平成３年11月４日生）
矢吹浩美・静子さんの長男
赤坂中野字宿ノ入

特別なことは何もしていませんがご飯やお菓子を食べたあとには必ず水を飲みます。多少口の中がきれいになるのかもしれませんね。でも夜の歯みがきはしています。





村民駅伝競走大会より

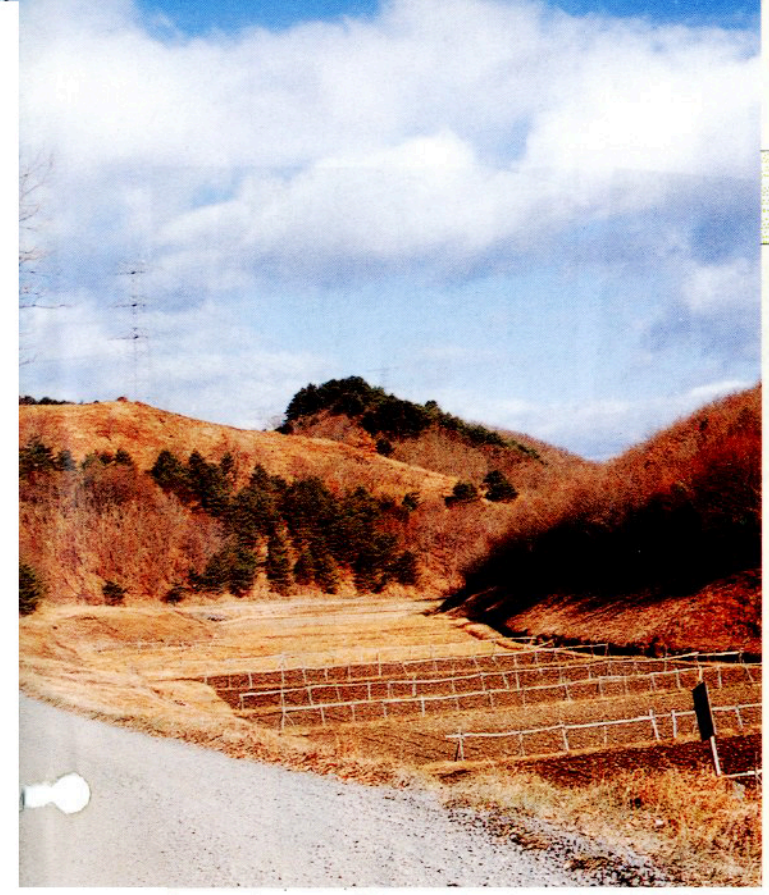
文芸

俳句

師の焼きし茶碗分厚き文化祭　福島市　中井　恒峯
二反田　大平　太平
落葉踏む夕日の乾く匂いして　白河市　矢部　正子
霜晴れや山脈ぐいと近付きぬ　前沼　黒田　寿香
もがり笛大地を走る雲のかげ　押目　北條素人坂
秋耕の土黒々と蘇る　いわき市　金沢　暁舟
灯台へ径幾曲り石蕗の花　道少田　山本五十鈴
かえりみる幾山河の初霞　新宿　斎須　信子
青いそば粉もまれるたびの香り　立つ　反田　小山田清哲
ハーベスター準備ＯＫ出番まつ　新宿　大池　魚水
でで虫や引戸に座りいる小春　道少田　山本　朗史
叔母逝けり寒星ひしと据わる中　田苗下　蛭田　正

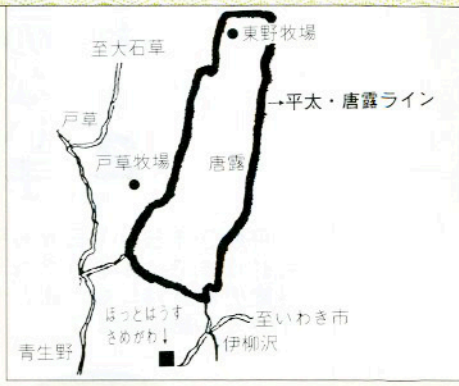
短歌

一筋の襷に賭けて駅伝の少年はいま号砲を待つ　沼の沢　本郷　チヨ
市場に出す子牛を見送るこの朝を孫はかなしみ売るなと縋る　越虫　星　武
媼らは道辺に植えし向日葵に大きな花をと施す追肥　名下　須藤美代子
行商車の流す演歌も村雨に吸いこまれつつ早し日暮れは　江竜田　芳賀　洋郎
晩秋の落葉かささこそ白樺の白肌　寒し夕ぐれ時に　本坂　藤田　末光
用済みとなりし木臼が玄関に棕櫚竹一もと植えられており　田苗下　蛭田　浩市
盛り上がるグラスの泡のしずまりておもむろに出す男の本音　中野町　赤坂　朝子
日めくりは今年も薄くなりてきぬわが人生の暗示の如く　本坂　藤田　初枝
古き物の良さに甦して母上の袷一つを縫い上げており　岩野草　坂本　雪絵
保育児の曽孫もお手玉繰り覚えぼんぼんあげる小さな手にて　楢久保　森　芳子
紅葉を滝に落として「不動尊」孫の句を諳んじてゆく遊歩道　大戸中　小松セツ子
月明りに畑を打ちたる若き頃野狐の声も懐かしくあり　大石草　鈴木イミ子
畦道より「ドーン」と打ち上げる花火師の友は上棟祝を咲かす　大塩　岡部　シゲ
かささかさと振向くわれを追越して木枯しに落葉吹かれてゆく　大塩　水野　フク
文化祭の短歌会に集いたる友等とひと日話題は尽きず　岫長　北條　平
土手草を集めて朝の一刻を焚火を囲む土工の笑顔　官代　前田　栄美
八十歳大楽勝男とある湯呑お茶呑む度に廻し見ている　棚橋　関根　一好
戦後はや五十年すぐ戦友の賀状いよいよ少なくなりぬ　酒垂　石井　カヤ
人波に押されて歩むアメ横に他人の足踏むも知らぬ顔して



訪ねてみませんか鮫川の30景㉑

平太（へいた）・唐露（かろう）ライン



大字赤坂東野字伊柳沢地内の阿武隈南部区域広域農業開発事業で開設された公共東野牧場から戸草牧場に抜けるあたりを平太と呼んでいます。戸草から唐露（通称）へ通じる唐露葉貫線の沿道では、低温の清水を利用してやまめの養殖が営まれています。また、昨年４月にオープンした「ほっとはうす・さめがわ」もすぐ近くにあります。東野・戸草の両公共牧場地帯、唐露の森林地帯を一めぐりする沿道を、平太・唐露ラインといいます。

こちら窓口

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
青生野	長井 美紅	11/18	長井 進
福原	蛭田 拓弥	11/28	蛭田 泉
浅屋敷	鈴木 翔太	12/5	鈴木 芳男

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
木之根	赤坂 キソ	94	赤坂 博男
石井	中川西マサエ	79	中川西一郎
田尻	高久 勝義	86	高久 和雄
薄ケ久保	高木ヨシイ	63	高木 和男
大石草	生田目正守	80	生田目清治

11月21日～12月20日までの届け出

休日のお医者さん

月 日(曜)	棚倉町	塙町	石川町
1月1日(月)	東白川中央病院 ☎33-3263	石川医院 ☎43-0003	務川医院 ☎26-5585
2日(火)	藤田医院 ☎33-2013	—	大野病院 ☎26-1181
3日(水)	あらまちクリニック ☎33-8018	—	添田医院 ☎26-2538
7日(日)	杉山胃腸科外科皮膚科 ☎33-7551	車田病院 ☎43-1019	山本内科クリニック ☎26-8311
14日(日)	和田医院 ☎33-2012	塙厚生病院 ☎43-1145	中島病院 ☎26-3415
15日(月)	勝田医院 ☎33-3008	中島医院 ☎43-0373	大野病院 ☎26-1181
21日(日)	大木医院 ☎33-2424	車田病院 ☎43-1019	中島病院 ☎26-3415
28日(日)	東白川中央病院 ☎33-3263	塙厚生病院 ☎43-1145	三瓶胃腸科医院 ☎26-1234
2月4日(日)	藤田医院 ☎33-2013	—	大竹眼科医院 ☎26-4118

今月の人口（12月1日）

人口	世帯
5,071人（＋6）	1,121戸（±0）
男 2,512人（＋3）	女 2,559人（＋3）

ごみは分別して収集日に出しましょう

収集場所	種別	1月	2月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩コース	可燃物	8.11.18.22 25.29	1.5.8.15.19 22.26.29
	不燃物	12.26	9.23
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	8.11.18.22 25.29	1.5.8.15.19 22.26.29
	不燃物	10.24	7.21
鮫川分校（可燃物木曜のみ）	可燃物	8.11.18.22 25.29	1.5.8.15.19 22.26.29
鮫川中学校コース	不燃物	11.25	8.22
関下～越虫～青生野小学校～世々麦～葉貫～蕨ノ草～中沢～関口コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	10.24	7.21
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	11.25	8.22
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	12.26	9.23
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	19	16

あとがき

♥新年明けましておめでとうございます。こうして一月号のあとがきを書くことも六回目となりました。気持ちを新たにがんばりますので、今年も「広報さめがわ」をよろしくお願いします♥ところで皆さんは今年どんな年にしたいですか。私は健康的な生活をしたいと思います。そろそろ無理のきかない年齢になったようですから♥今年も皆さんにとって良い年でありますようにお祈りいたします（石）